

第328回

# 日文研フォーラム

## 講師◎グエン・ヴー・クイン・ニユー ベトナムにおける日本学研究的現在

ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 講師  
日文研 外来研究員(日本学術振興会外国人特別研究員)

コメンテーター◎ 荒木 浩  
日文研 副所長

司会◎ 呉座 勇一  
日文研 助教

2019年4月9日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies  
The 328th Nichibunken Forum

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



## 日文研フォーラム

ベトナムにおける日本学研究の現在  
The Current Situation of Japanese studies in Vietnam

近年、ベトナムでは、日本とベトナムの関係発展を反映して、日本文化が浸透しています。日本語学習をきっかけに日本学に興味を持つベトナム人も増えていきます。しかしベトナムの日本語教育においては、ビジネス志向が依然支配的です。学術研究の一層の充実が望まれます。

本発表では、日本学研究の近年の動向と今後の課題を紹介します。ベトナムで日本学研究に携わっている人々がどのような分野に関心を有してきたのか、日本学に関する高等教育の充実化と高度人材の育成を実現するには何が必要なのかを見ていきましょう。

## 講師 ゲエン・ヴー・クイン・ニュー

ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 講師/日文研 外来研究員(日本学術振興会外国人特別研究員)



1992年ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学英語専攻卒業。2013年同大学にて博士号(文学)取得。2015年同大学教師、国際日本文化研究センター(日文研)外国人研究員、2017年立命館大学客員協力研究員、日文研外来研究員。2018年11月より現職。

専門分野は、文学・俳句。主要業績に『「古くて新しいもの」—ベトナム人の俳句観から日本文化の浸透を探る—』(日文研、2017)、「日本古典文学における民間文化」(『サイゴン大学 文学・評論書』、ベトナム社会科学アカデミー、2018)、「ベトナム人と俳句」(『跨境日本語文学研究』、高麗大グローバル日本研究院、2018)、「趣味で楽しむ日本の古典」(「京都・ソウル東アジア次世代フォーラム」研究会発表、2019)、「日本の五節句とそのベトナムの伝説」(「説話文学と歴史資料の間に」研究会発表、2018)などがある。

## コメンテーター 荒木 浩 日文研 副所長



1986年京都大学大学院博士後期課程中退。博士(文学、京都大学)。大阪大学大学院教授を経て、2010年4月より現職。総合研究大学院大学教授を兼任。国文学研究資料館併任助教授、コロンビア大学客員研究員、ネルー大学、チューリヒ大学、ベトナム国家大学、チュラーロンコーン大学、ソフィア大学で客員教授を歴任。専門分野は日本文学。主要著書に、『徒然草への途』(勉誠出版、2016)、『かくして「源氏物語」が誕生する』(笠間書院、2014)、『説話集の構想と意匠』(勉誠出版、2012)、編著に、『夢と表象』(勉誠出版、2017)、『夢見る日本文化のパラダイム』(法蔵館、2015)、『中世の随筆』(竹林舎、2014)などがある。京都新聞に「文遊回廊」を連載中。

## 日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

http://www.nichibun.ac.jp/ja/



日文研



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車